

対馬保健所管内における感染症情報

令和7年 第32週（8月4日 ～ 8月10日）

1. 定点把握対象疾患

発生 状況	疾患名	定点当たり（人）		報告数	内訳			発生年代等
		前週 (31週)	今週 (32週)		対馬 病院	上対馬 病院	豊玉 診療所	
↑	(季節性)インフルエンザ	-	0.67	2	1	1	0	30歳代：2名
↑	新型コロナウイルス感染症	4.00	7.67	23	13	7	3	10歳未満：5名 20歳代：2名 30歳代：4名 40歳代：2名 50歳代：1名 60歳代：3名 70歳代：3名 80歳以上：3名
↓	RSウイルス感染症	0.50	-	0	0	0		
↓	咽頭結膜熱	0.50	-	0	0	0		
↑	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	-	3.50	7	6	1		3歳：3名 6歳：1名 8歳：1名 9歳：1名 10歳代：1名
	感染性胃腸炎	-	-	0	0	0		
↓	水痘	0.50	-	0	0	0		
↑	手足口病	0.50	1.00	2	2	0		3歳：1名 6歳：1名
	伝染性紅斑（リンゴ病）	-	-	0	0	0		
	突発性発しん	-	-	0	0	0		
↑	ヘルパンギーナ	0.50	1.50	3	3	0		6-11か月：1名 1歳：1名 5歳：1名
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	-	-	0	0	0		
	細菌性髄膜炎	-	-	-	*基幹定点			
	無菌性髄膜炎	-	-	-	*基幹定点			
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	*基幹定点			
	クラミジア肺炎【オウム病は除く】	-	-	-	*基幹定点			
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-	-	*基幹定点			
↑	急性呼吸器感染症（ARI）	25.67	28	84	ARI 定点			

2. 全数把握対象疾患

・百日咳（5類感染症） 1件

3. トピックス、季節情報

◆全国・長崎県にて百日咳の報告が多い状況が続いており、対馬市でも報告がありました。



どんな病気？

- ・百日咳菌による感染症で、1年を通じて発生を認め、激しい咳を特徴とする、急性の気道感染症です。
- ・感染した人の鼻咽頭や気道からの分泌物による飛沫感染及び接触感染によって人から人へ感染します。
- ・乳児の場合、肺炎や脳症を合併し、まれに死に至ることもあるため、乳児の周りでは特に注意が必要です。

症状は？

- ・かぜ様症状で始まり、次第に咳の回数が増え程度も激しくなります。（カタル期：約2週間）
- ・その後、発作性・けいれん性の咳が出るようになります。（痙咳期：約2-3週間）
年齢が小さいほど特徴的な咳がなく、単に息を止めているような無呼吸発作からチアノーゼ、けいれん、呼吸停止と進展することがあります。
- ・激しい咳は次第に収まり、回復に向かいます。（回復期：約2-3週間）

予防方法

- ・予防接種法に基づく定期予防接種が行われていますので、生後2か月に達したら、早めに5種混合ワクチンを接種しましょう。また、小学校就学前にワクチン効果が下がるため、任意での追加接種を推奨しています。
- ・基本的な感染対策（手洗い、うがい、手指消毒）を心掛けましょう。また、咳が出るときには、咳エチケットを守りましょう。